

## 第6章 音楽

### 第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等

#### 1 教科目標

表現及び鑑賞の活動を通して，音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに，音楽活動の基礎的な能力を培い，豊かな情操を養う。

#### 2 評価の観点及びその趣旨

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。	音楽のよさや美しさを感じ取り，それらを音楽活動の中で創意工夫し，生かしている。	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。	音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。

#### 3 内容のまとめりごとの評価規準の設定

音楽科においては，学習指導要領の内容の「A表現」の活動分野である歌唱，器楽，創作と「B鑑賞」を内容のまとめり「A表現・歌唱」，「A表現・器楽」，「A表現・創作」，「B鑑賞」として，それぞれにおいて評価規準を作成した。

### 第2 内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### 第1学年及び第2学年

##### 1 学年目標

- (1) 楽しい音楽活動を通して，音楽に対する興味・関心をもち，音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) リズムに重点を置いた活動を通して，基礎的な表現の能力を育て，音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- (3) 音楽の楽しさを感じ取って聴き，様々な音楽に親しむようにする。

##### 2 第1学年及び第2学年の評価の観点の趣旨

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
音楽に対する興味・関心をもち，進んで音楽活動を楽しもうとする。	楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り，それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。	範唱や範奏を聴いて演奏したり，リズム譜に親しんだりするとともに，自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり，楽器を演奏したり，音楽をつくったりしている。	音楽を特徴付けている要素に気を付けながら，楽曲の気分を感じ取って聴く。

### 3 学習指導要領の内容，内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### (1) 「A 表現・歌唱」

【学習指導要領の内容】

A 表 現	(1) 音楽を聴いて演奏できるようにする。
	ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。
	イ 階名で模唱や暗唱をしたり，リズム譜に親しんだりすること。
	(2) 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取って，工夫して表現できるようにする。
	ア 歌詞の表す情景や気持ちを想像して表現すること。
	イ 拍の流れやフレーズを感じ取って，演奏したり身体表現をしたりすること。
ウ 互いの歌声や楽器の音，伴奏の響きを聴いて演奏すること。	
(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。	
ア 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。	

【「A 表現・歌唱」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
歌唱表現に対する興味・関心をもち，進んで歌唱活動を楽しむとともに，その経験を生活に生かそうとする。	斉唱や輪唱などによる歌唱表現及び歌声のよさや楽しさを感じ取るとともに，歌詞の表す情景や気持ちを想像し，拍の流れやフレーズなどを感じ取り，それらを生かした歌唱表現を工夫したり，身体表現をしたりしている。	範唱や範奏を聴いて歌ったり，階名で模唱や暗唱をしたり，リズム譜に親しんだりしている。また，自分の歌声及び発音に気を付けて歌うとともに，互いの歌声や伴奏の響きを聴いて歌っている。

【「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斉唱や輪唱などの歌唱表現に興味や関心をもち，楽しく歌おうとしている。</li> <li>・ 自分の歌声や友達の歌声を聴き，友達と一緒に歌うことを楽しんでいる。</li> <li>・ 歌唱表現を聴いて同じように歌いたいという思いや願いをもち，楽しく歌唱表現をしようとしている。</li> <li>・ 歌に合わせて自ら体を動かし，楽しく歌唱表現をしようとしている。</li> <li>・ 身近な自然や興味ある動物など，生活の中で親しんでいるものに接して，楽しく歌おうとしている。</li> <li>・ 楽しんで歌うことができる愛唱歌を増やし，音楽の学習や学校生活，行事にかかわる活動に生かそうとしている。</li> <li>・ 生活の中にある様々な歌や地域に伝承されている歌に関心をもち，学習に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斉唱や輪唱など，友達と一緒に心を合わせて歌うことのよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・ 友達の表現を聴き，そのよさを感じ取っている。</li> <li>・ 美しい範唱や友達の歌声に接して，きれいな歌声を求めて歌っている。</li> <li>・ 互いの歌声や伴奏の響きを感じ取って，表現の工夫をしている。</li> <li>・ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり，登場する人物や動物の気持ちになったりして，身体表現をしたり歌い方を工夫したりしている。</li> <li>・ 歌詞に合った絵や写真，音や映像，話し合いなどからイメージを膨らませ，気持ちを込めた歌い方を工夫している。</li> <li>・ 歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気付いて表現を工夫している。</li> <li>・ 拍の流れやフレーズ，強拍や弱拍を感じ取って，歌い方や身体表現を工夫している。</li> <li>・ 旋律やリズムの繰り返しや変化などを感じ取り，表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱や範奏を聴いて，リズムや音程，速度に気を付けたり，旋律の流れや歌詞の発音などに気を付けたりして歌っている。</li> <li>・ 範唱や範奏を注意深く聴き，リズム，旋律，強弱，速度などに気を付けて，よりよい表現をめざして歌っている。</li> <li>・ 階名による模唱や暗唱，移動ド唱法に親しんでいる。</li> <li>・ 簡単なリズム譜を見て，リズム唱やリズム打ちをしたり，歌ったりしている。</li> <li>・ 必要以上に大きな声でどなることなく，自分の歌声に気を付けながら，ていねいに歌ったり，きれいな歌声で歌ったりしている。</li> <li>・ 正しい発音，きれいな発音，はっきりした発音に気付くとともに，心を込めて歌詞を読んだり歌ったりしている。</li> <li>・ 友達の歌声に耳を傾け，みんなの声と合わせて歌うとともに，伴奏の響きを聴いて歌っている。</li> </ul>

## (2) 「A 表現・器楽」

### 【学習指導要領の内容】

A 表 現	(1) 音楽を聴いて演奏できるようにする。
	ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。
	イ 階名で模唱や暗唱をしたり，リズム譜に親しんだりすること。
	(2) 楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取って，工夫して表現できるようにする。
	イ 拍の流れやフレージングを感じ取って，演奏したり身体表現をしたりすること。
	ウ 互いの歌声や楽器の音，伴奏の響きを聴いて演奏すること。
(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。	
イ 身近な楽器に親しみ，簡単なリズムや旋律を演奏すること。	

### 【「A 表現・器楽」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
器楽表現に対する興味・関心を持ち，進んで器楽活動を楽しむとともに，その経験を生活に生かそうとする。	身近な楽器の演奏などによる器楽表現及び楽器の音色のよさや楽しさを感じ取るとともに，拍の流れやフレーズなどを感じ取り，それらを生かした器楽表現を工夫したり，身体表現をしたりしている。	範唱や範奏を聴いて楽器を演奏したり，階名で模唱や暗唱をしたり，リズム譜に親しんだりしている。また，身近な楽器に親しみ，簡単なリズムや旋律を演奏するとともに，互いの楽器の音や伴奏の響きを聴いて楽器を演奏している。

### 【「A 表現・器楽」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な楽器を用いて，主旋律や低声部の旋律，簡単なリズム伴奏を演奏することに興味・関心をもっている。</li> <li>・様々な打楽器，オルガン，ハーモニカなど身近な楽器に興味・関心を持ち，簡単なリズムや旋律を演奏しようとしている。</li> <li>・自分の演奏や友達の演奏におけるいろいろな音の響きを聴き，心を合わせて演奏しようとしている。</li> <li>・器楽表現を聴いて同じように演奏したいという思いや願いを持ち，楽しく器楽表現をしようとしている。</li> <li>・楽器を演奏したり，身体表現をしたりして，楽しく器楽活動に取り組んでいる。</li> <li>・リズム表現や身体表現などに夢中になって取り組もうとしている。</li> <li>・楽しんで演奏できる愛好曲を増やし，音楽の学習や学校生活，行事にかかわる活動に生かそうとしている。</li> <li>・生活の中にある様々な楽器や器楽表現に関心を持ち，学習に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に心を合わせて演奏することのよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・様々な打楽器，オルガン，ハーモニカなど身近な楽器による器楽表現のよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・主旋律に，低声部の旋律や簡単なリズム伴奏などを加えて表現することの魅力を感じ取っている。</li> <li>・美しい範奏や友達の演奏を聴いて，器楽表現のよさや楽しさを感じ取り，表現の工夫をしている。</li> <li>・楽器の音色に気を付けて，音の出し方や演奏の仕方を工夫している。</li> <li>・楽曲全体の気分や音楽の流れを感じ取り，正しい音程やリズム，フレーズに気を付けて，演奏の仕方や身体表現を工夫している。</li> <li>・体全体で音楽を感じ取って，リズムの演奏を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱や範奏を聴いて，リズムや音程，速度などに気を付けて楽器を演奏している。</li> <li>・簡単なリズム打ちや階名による模唱や模奏をしている。</li> <li>・簡単なリズム譜を見てリズム唱やリズム打ちをしている。</li> <li>・歌や楽器の演奏に合わせて手や打楽器でリズムを打ったり，音楽に合わせて体を動かしながら演奏したりしている。</li> <li>・身近な楽器の演奏の仕方，楽器の扱い方，基礎的な演奏技能を身に付け，親しみのある旋律や平易な低声部の旋律，簡単なリズム伴奏を演奏している。</li> <li>・互いの楽器の音や伴奏の響きを聴いて，音程やリズムをそろえて演奏している。</li> </ul>

### (3) 「A 表現・創作」

【学習指導要領の内容】

A 表 現	(4) 音楽をつくって表現できるようにする。 ア リズム遊びやふし遊びなどを楽しみ、簡単なリズムをつくって表現すること。 イ 即興的に音を探して表現し、音遊びを楽しむこと。
-------------	--

【「A 表現・創作」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
自ら音楽をつくって表現する活動に興味・関心をもち、進んで音楽づくりを楽しむとともに、その経験を生活に生かそうとする。	様々なリズム、いろいろな声や音の響きのおもしろさを感じ取るとともに、音楽表現のイメージをもち、それらを生かした音楽づくりを工夫している。	簡単なリズムをつくって表現するとともに、即興的に音を探して表現し、音遊びを楽しむなど、工夫して音楽をつくっている。

【「A 表現・創作」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々なリズムのおもしろさ、身の回りのいろいろな声や音の響きに興味・関心をもっている。</li> <li>・ 夢中になって音楽づくりを楽しんでいる。</li> <li>・ 自分の体や身の回りのいろいろなものを楽器として音楽づくりを楽しんでいる。</li> <li>・ リズム遊びやふし遊び、簡単なリズムづくりを楽しんでいる。</li> <li>・ 様々な音遊びや、イメージに合った音を探して表現する活動に進んで取り組んでいる。</li> <li>・ 自分でつくった音や音楽を進んで発表しようとしている。</li> <li>・ 音楽づくりで得た経験を歌唱や器楽、鑑賞の活動に生かそうとしている。</li> <li>・ 季節や地域の行事にかかわる活動と関連した音楽表現を工夫しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を聴くことや音楽遊びを通して、様々なリズムの違いやリズム表現のおもしろさに気付いている。</li> <li>・ 音楽の快いリズムに体全体で反応している。</li> <li>・ 様々な音遊びを通して、音そのもののおもしろさに気付いている。</li> <li>・ 互いに工夫してつくった音や音楽を聴き合い、そのよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・ 身の回りのいろいろな音や声の響きに注目し、自分の表現したいことについての思いやイメージをもっている。</li> <li>・ いろいろな音や声の響きが醸し出している様々な気持ちや情景などを想像している。</li> <li>・ 様々なリズムや音そのもののおもしろさを生かした表現を工夫している。</li> <li>・ 見つけた音の響きのイメージを膨らませて、音楽づくりの工夫に生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拍の流れにのって、リズム遊びやふし遊びなどを行っている。</li> <li>・ 拍の流れにのって、簡単なリズムをつくって表現している。</li> <li>・ イメージに合う音を即興的に探して表現している。</li> <li>・ 様々な音の素材を使って、音遊びをしている。</li> <li>・ 音の響きのイメージを膨らませて簡単なお話をつくったり、自分自身の音を工夫してつくったりしている。</li> <li>・ 音や声の出し方を工夫して、自分のイメージに合った音づくりをしている。</li> </ul>

(4) 「B鑑賞」

【学習指導要領の内容】

B 鑑 賞	<p>(1) 音楽を聴いてそのよさや楽しさを感じ取るようにする。</p> <p>ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。</p> <p>イ リズム、旋律及び速さに気を付けて聴くこと。</p> <p>ウ 楽器の音色に気を付けて聴くこと。</p>
-------------	---

【「B鑑賞」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
<p>様々な音楽を聴くことに興味・関心をもち、進んで鑑賞活動を楽しむとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>いろいろな種類の音楽やいろいろな演奏形態による音楽を聴いて、日常生活に関連して具体的な情景を想像したり、イメージを膨らませたりするなど、そのよさや楽しさを感じ取るとともに、音楽表現のよさに気づき、それらを生かした鑑賞の工夫をしている。</p>	<p>リズムや旋律及び速さ、楽器の音色や歌声などに気を付けて聴くとともに、楽曲の気分を感じ取って聴く。</p>

【「B鑑賞」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行進曲や踊りの音楽などいろいろな種類の音楽や、いろいろな演奏形態による音楽を聴こうとしている。</li> <li>・楽器の音色や楽器の演奏の仕方に興味・関心をもって聴こうとしている。</li> <li>・音楽を聴いて、そのよさや楽しさを感じ取ろうとしている。</li> <li>・主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたりしながら、楽曲全体の気分を感じ取ろうとしている。</li> <li>・楽曲を特徴付けているリズム、旋律及び速さを聴き取ろうとしている。</li> <li>・自らの感じ方を生かしながら、様々な音楽を進んで聴こうとしている。</li> <li>・教師や友達の演奏をよく聴こうとしている。</li> <li>・生活の中にある様々な音楽に関心をもち、愛好曲を増やそうとするとともに、生活の中でそれらの音楽を聴くことに親しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行進曲、踊りの音楽などいろいろな種類の音楽を聴いて、情景を想像したりイメージを膨らませたりしながら、音楽を聴く楽しさを感じ取っている。</li> <li>・いろいろな演奏形態による音楽のよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・友達の表現を互いに聴いて、そのよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・フレーズのまとまりを意識してリズムを感じ取っている。</li> <li>・個々の楽器の音色の特徴を感じ取っている。</li> <li>・主な旋律の特徴や、楽曲の構成を感じ取っている。</li> <li>・音楽に合わせて体を動かしながら、音楽の流れを感じ取っている。</li> <li>・主な旋律を口ずさみながら音楽を聴き、楽曲の気分や楽しさを感じ取っている。</li> <li>・演奏している場面を見たり、音楽に合わせて演奏のまねをしたりしながら、演奏のおもしろさを感じ取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽表現のよさや楽しさを感じ取りながら様々な楽曲を聴いたり、範唱や範奏、友達の表現を聴いたりする。</li> <li>・楽曲を特徴付けているリズム、旋律及び速さの特徴に気付いて聴く。</li> <li>・フレーズのまとまりを意識してリズムを感じ取って聴く。</li> <li>・主な旋律の表す描写的な表現や、その旋律が楽曲の中で繰り返し現れるおもしろさなどに気付いて聴く。</li> <li>・いろいろな楽器そのものに興味をもったり、音楽を聴く中で、自然に聞こえてくる楽器の音色に気を付けたりして聴く。</li> <li>・様々な音楽のよさや楽しさを感じ取って聴く。</li> <li>・様々な音楽を聴き比べる活動を通して、楽曲の気分の違いを感じ取って聴く。</li> <li>・主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたり、身近な楽器で演奏したりしながら、楽曲全体の気分や音楽の流れを感じ取って聴く。</li> <li>・視聴覚教材などを通して実際に演奏している場面に接して、楽器の演奏のまねをして聴いたり、演奏の仕方に魅力を感じ取りながら聴いたりする。</li> </ul>

### 第3学年及び第4学年

#### 1 学年目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

#### 2 第3学年及び第4学年の評価の観点の趣旨

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。

#### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

##### (1) 「A 表現・歌唱」

【学習指導要領の内容】

A 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。</li> <li>イ 八長調の旋律を視唱したり視奏したりすること。</li> </ul> </li> <li>(2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫すること。</li> <li>イ 拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化を感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。</li> </ul> </li> <li>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌うこと。</li> </ul> </li> </ul>
-------------	---

【「A 表現・歌唱」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
進んで歌唱表現にかかわり、歌唱活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。	斉唱や簡単な合唱などによる歌唱表現及び歌声のよさや美しさを感じ取るとともに、歌詞の内容にふさわしい表現を工夫し、拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化などを感じ取り、それらを生かした歌唱表現の仕方を工夫したり、身体表現をしたりしている。	範唱や範奏を聴いたり楽譜を見たりして歌うとともに、八長調の旋律を視唱している。また、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない声で歌っている。

【「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斉唱や簡単な合唱などによる豊かな歌唱表現に関心をもち、進んで歌おうとしている。</li> <li>・ 自然で無理のない声で歌うことに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斉唱や簡単な合唱などによる歌唱表現の豊かさや美しさを感じ取るとともに、友達と一緒に声を合わせて歌うことのよさや楽しさを感じ取って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱や範奏から、リズムや音程、歌詞や旋律の流れ、歌詞の発音などの豊かな表現を聴き取って歌っている。</li> <li>・ 範唱や範奏を注意深く聴き、リズム、</li> </ul>

<p>興味・関心をもち、伸び伸びとした声で歌おうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱表現を聴いて同じように歌いたいという思いや願いをもち、進んで歌唱表現をしようとしている。</li> <li>・音楽の流れを体全体で受け止め、歌唱表現や身体表現をしようとしている。</li> <li>・自分の思いが表現できるように繰り返し歌おうとしている。</li> <li>・進んで八長調の旋律の視唱に取り組もうとしている。</li> <li>・友達と協力して歌唱表現を工夫しようとしている。</li> <li>・自分、あるいは友達の歌声や歌唱表現から、そのよさや課題を発見しようとしている。</li> <li>・楽しんで歌うことができる愛唱歌を探したり増やしたりして、音楽の学習や学校生活、季節や行事にかかわる活動に生かそうとしている。</li> <li>・生活の中にある様々な歌や、長い間親しまれてきた唱歌、地域に伝承されている歌など日本のうたに関心を深め、学習に生かそうとしている。</li> </ul>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の表現を聴き、そのよさを感じ取っている。</li> <li>・範唱や友達の歌声を聴いて、自然で無理のない声、きれいな声、響きのある声による美しい表現を求め、歌い方を工夫している。</li> <li>・歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、言葉の意味や歌詞の内容を感じ取ったりするとともに、歌詞と旋律、歌詞とリズムの関連などを感じ取って、歌詞の内容にふさわしい表現の仕方を工夫している。</li> <li>・歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気を付けながら、表現に生かしている。</li> <li>・拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化などを感じ取って歌ったり、身体表現をしたりしている。</li> <li>・旋律やリズムの反復や変化などを感じ取って曲想表現を工夫している。</li> <li>・声や楽器の組合せによって生まれる響きや、和声の響きを感じ取って、曲想表現を工夫している。</li> </ul>	<p>旋律、強弱、速度、音色、和音などに気を付けたり、それらの相互のかかわりをとらえたりして、豊かな表現をめざして歌っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の流れにのった読譜に親しみ、楽譜と音との関連に気付き、八長調の旋律を視唱している。</li> <li>・移動ド唱法に慣れている。</li> <li>・自分の声の持ち味を生かし、ていねいに歌ったり、伸び伸びとした歌声で歌ったりしている。</li> <li>・美しい歌唱表現を求め、呼吸の仕方や発音の仕方、きれいな発音やはっきりした発音に気を付けるとともに、母音や子音、濁音や鼻濁音などの発音に気を付けて歌っている。</li> <li>・友達の歌声に耳を傾け、みんなの声と合わせて歌ったり、伴奏や他のパートを聴いて歌ったりしている。</li> </ul>
--	--	---

## (2) 「A 表現・器楽」

### 【学習指導要領の内容】

A 表 現	<p>(1) 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。</p> <p>ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。</p> <p>イ 八長調の旋律を視唱したり視奏したりすること。</p> <p>(2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。</p> <p>イ 拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化を感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。</p> <p>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>イ 音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</p>
-------------	---

### 【「A 表現・器楽」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<p>進んで器楽表現にかかわり、器楽活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>旋律楽器及び打楽器の演奏、簡単な重奏や合奏などによる器楽表現及び楽器の音色のよさや美しさを感じ取るとともに、拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化、音の組合せの特徴などを感じ取り、それらを生かした器楽表現の仕方を工夫したり、身体表現をしたりしている。</p>	<p>範唱や範奏を聴いたり楽譜を見たりして楽器を演奏するとともに、八長調の旋律を視奏している。また、音色に気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏している。</p>

### 【「A 表現・器楽」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律楽器や打楽器を用いて、簡単な重奏や合奏にした楽曲を演奏することに興味・関心をもっている。</li> <li>・リコーダーや鍵盤楽器などの旋</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に音色に気を付けて演奏することのよさや楽しさを感じ取っている。</li> <li>・リコーダーや鍵盤楽器などの旋律楽器や様々な打楽器による器楽表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱や範奏を聴いて、リズムや音程、旋律の流れ、音色の響きなど豊かな表現を聴き取って楽器を演奏している。</li> <li>・音楽の流れにのった読譜に親し</li> </ul>

<p>律楽器や様々な打楽器に興味・関心をもち、個々の楽器に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽表現を聴いて同じように演奏したいという思いや願いをもち、進んで器楽表現をしようとしている。</li> <li>・自分の思いが表現できるように繰り返し演奏しようとしている。</li> <li>・旋律楽器や打楽器の適切な扱い方や演奏の仕方を理解したり、楽譜を見たりして、主体的に器楽活動をしようとしている。</li> <li>・自分の演奏や友達の演奏における音を聴こうとするともに、友達と協力して器楽表現に取り組もうとしている。</li> <li>・楽器固有の音色や美しい響き、簡単な合奏や小アンサンブルなどに関心をもち、意欲的に器楽表現に取り組もうとしている。</li> <li>・楽しんで演奏できる愛好曲を増やし、音楽の学習や学校生活、行事にかかわる活動で生かそうとしている。</li> <li>・生活の中にある様々な楽器や、地域に伝承されている器楽表現に関心を深め、学習に生かそうとしている。</li> </ul>	<p>現のよさや美しさを感じ取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な重奏や合奏をすることの魅力を感じ取っている。</li> <li>・美しい範奏や友達の演奏を聴いて、器楽表現のよさや美しさを感じ取り、表現の工夫をしている。</li> <li>・楽器のもつ固有の音色やその美しい響き、楽曲にふさわしい音色などに気付いて、器楽表現の美しさや豊かな響きの音色を求めて演奏を工夫している。</li> <li>・楽曲全体の音楽表現の豊かさや美しさ、拍感やフレーズ感、強弱や速度の変化、音の組合せの特徴などを感じ取って、曲想に合った演奏の仕方や身体表現を工夫している。</li> <li>・音楽表現の豊かさや美しさに気付き、工夫して旋律を演奏している。</li> </ul>	<p>み、八長調の旋律を視唱・視奏している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜上で音を確かめながら短い旋律を視奏している。</li> <li>・リズム、旋律、強弱、速度、音色、和音などの要素を感じ取って演奏したり、それらの相互のかかわりをとらえて演奏したり、身体表現をしたりしている。</li> <li>・旋律楽器や打楽器の適切な扱い方、演奏の仕方など、楽器の基礎的な演奏技能を身に付け、主旋律や低声部の旋律、副次的な旋律、 、 、 などを中心とした和音、リズムを演奏している。</li> <li>・簡単な合奏や小アンサンブルの中で、楽器のもつ固有の音色やその美しい響きを生かして演奏している。</li> </ul>
---	---	--

### (3) 「A 表現・創作」

【学習指導要領の内容】

A 表 現	<p>(4) 音楽をつくって表現できるようにする。</p> <p>ア 音の組合せを工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現すること。</p> <p>イ 即興的に音を選んで表現し、いろいろな音の響きやその組合せを楽しむこと。</p>
-------------	---

【「A 表現・創作」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<p>進んで音楽づくりにかかわり、音楽をつくって表現する活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>様々なリズムや旋律及び音の組合せのおもしろさ、いろいろな声や音の響きの特徴を感じ取るとともに、音楽表現のイメージを広げ、それらを生かした音楽づくりの仕方を工夫している。</p>	<p>音の組合せを工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現するとともに、即興的に音を選んで表現し、いろいろな音の響きやその組合せを楽しむなど、工夫して音楽をつくっている。</p>

【「A 表現・創作」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なリズムや旋律をつくって表現することに興味・関心をもち、音楽づくりを楽しんでいる。</li> <li>・身の回りのいろいろな音の響きに注目し、音楽づくりに生かそうとしている。</li> <li>・イメージを豊かに膨らませ、自分自身の音楽をつくり出そうと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴くことや音楽遊びを通して、リズムや旋律、音の組合せのおもしろさを感じ取っている。</li> <li>・様々な音の素材による響きの違いに気付いている。</li> <li>・互いに工夫してつくった音や音楽を聴き合い、そのよさや美しさを感じ取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音やリズムの組合せを工夫して表現している。</li> <li>・様々なリズム・パターンやリズム伴奏などを工夫して表現している。</li> <li>・言葉のリズムや抑揚を生かしたり、音の組合せを工夫したりして短い旋律をつくっている。</li> </ul>

<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に音やリズムの組合せを工夫しようとしている。</li> <li>自ら進んで簡単なリズムや旋律をつくって表現しようとしている。</li> <li>自分の思いやイメージを基に、音を選んで表現する活動に進んで取り組んでいる。</li> <li>友達と協力して音楽づくりを進めようとしている。</li> <li>音楽づくりの経験を歌唱、器楽、鑑賞の活動に進んで生かそうとしている。</li> <li>季節や地域の行事にかかわる活動と関連した音楽表現を工夫しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのいろいろな音や声の響きの特徴を感じ取って、自分の表現したいことについての思いやイメージを広げている。</li> <li>いろいろな楽器や声、様々な音の素材の特徴を生かした表現の仕方を工夫している。</li> <li>様々なリズムや旋律、音の組合せを生かした表現の仕方を工夫している。</li> <li>自分の表現したいことについての思いやイメージを広げて、音楽づくりの仕方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージに合う音を即興的に選んで情景や気持ちなどを表現している。</li> <li>楽器や声、様々な音の素材を使って、いろいろな音の響きやその組合せを工夫し、音楽表現を楽しんでいる。</li> <li>自分で表現したいことについてのイメージを広げ、物語や詩、劇のBGMなどを工夫して表現している。</li> <li>声の出し方を工夫して、自分のイメージに合った音づくりをしている。</li> <li>つくった音や音楽を工夫して記録している。</li> </ul>
--	---	--

#### (4) 「B鑑賞」

##### 【学習指導要領の内容】

B 鑑 賞	<p>(1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを感じ取るようにする。</p> <p>ア 曲想の変化を感じ取って聴くこと。</p> <p>イ 主な旋律の反復や変化、副次的な旋律、音楽を特徴付けている要素に気を付けて聴くこと。</p> <p>ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の組合せを感じ取って聴くこと。</p>
-------------	--

##### 【「B鑑賞」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
<p>様々な音楽を進んで聴き、鑑賞活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>いろいろな種類の音楽やいろいろな演奏形態による音楽を聴いて、音楽を特徴付けている要素の働きに注目したり、様々な楽器の音色や声の特徴を感じ取ったりするなど、そのよさや美しさを感じ取るとともに、音楽表現のよさや工夫に気付き、それらを生かした鑑賞の仕方を工夫している。</p>	<p>主な旋律の反復や変化、副次的な旋律、音楽を特徴付けている要素、楽器の音色及び人の声の特徴、それらの音や声の組合せなどに気を付けて聴くとともに、曲想の変化を感じ取って聴く。</p>

##### 【「B鑑賞」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>劇の音楽、管弦楽の音楽、郷土の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の音楽や、独奏や合奏などのいろいろな演奏形態の音楽に関心をもって聴こうとしている。</li> <li>楽器の音色や人の声による表現、演奏の仕方に関心をもって聴こうとしている。</li> <li>音楽を特徴付けている諸要素と楽曲全体の構成とのかかわりなどに興味をもって聴こうとしている。</li> <li>主な旋律を口ずさんだり、体を動かしたりしながら、対照的な楽曲や演奏を聴き比べたり、楽曲全体の曲想やその変化を感じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇の音楽、管弦楽の音楽、郷土の音楽、人々に長く親しまれている音楽など、いろいろな種類の音楽を聴いて、それぞれの音楽の美しさや特徴を感じ取っている。</li> <li>独奏や合奏を含めたいろいろな演奏形態による音楽のよさや美しさ、特徴を感じ取っている。</li> <li>友達の表現を互いに聴いて、そのよさや美しさを感じ取っている。</li> <li>様々な音楽を聴いて、歌ったり楽器を演奏したりすることの楽しさを感じ取っている。</li> <li>楽曲を特徴付けているリズム、旋律、強弱、速度、音色、和声、調などの要素の働きに注目し、それらの有機的なかかわり合いを感じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽表現のよさや美しさを感じ取りながら様々な楽曲を聴いたり、範唱や範奏、友達の表現を聴いたりする。</li> <li>楽曲を特徴付けているリズム、旋律、強弱、速度、音色、和声、調などの要素の働きに気付くとともに、それらの有機的なかかわり合いを感じ取って聴く。</li> <li>主な旋律が楽曲の中で繰り返され変化することによって醸し出される統一と対照の美しさなど、楽曲を特徴付けている諸要素と楽曲全体の構成とのかかわりのよさや特徴を感じ取って聴く。</li> <li>副次的な旋律を感じ取ったり、旋律と旋律とのかかわり合いによ</li> </ul>

<p>取ろうとしたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽曲を特徴付けるリズム、旋律、強弱、速度、音色、和声、調などに気を付けて聴こうとしている。</li> <li>・ 自らの感じ方や考え方を生かしながら、様々な音楽を進んで聴こうとしている。</li> <li>・ 教師や友達の演奏をよく聴き、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。</li> <li>・ 我が国及び諸外国で多くの人々に親しまれてきた音楽に関心をもち、愛好曲を増やそうとするとともに、生活の中でそれらの音楽を聴くことに親しんでいる。</li> </ul>	<p>取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器の音色の特徴や楽器の音や声の組合せによって生まれる響きを感じ取っている。</li> <li>・ 主な旋律が楽曲の中で繰り返され変化することによって醸し出される統一と対照の美しさなど、楽曲を特徴付けている諸要素と楽曲全体の構成とのかかわりや特徴を感じ取っている。</li> <li>・ 副次的な旋律に気付いたり、旋律と旋律とのかかわり合いによって生まれる響きの広がりや気分の変化を感じ取ったりしている。</li> <li>・ いろいろな演奏形態による音楽に親しみ、楽器や人の声の組合せから生まれる響きの美しさを感じ取っている。</li> <li>・ 音楽に合わせて体を動かしながら、音楽全体の流れを感じ取っている。</li> <li>・ 主な旋律を口ずさんだり、対照的な楽曲や演奏を聴き比べたりしながら、楽曲全体の曲想やその変化を感じ取っている。</li> <li>・ 演奏している場面を見たり、音楽に合わせて演奏のまねをしたり、身体表現をしたりしながら、演奏の仕方の工夫を感じ取っている。</li> </ul>	<p>て生まれる響きの広がりや気分の変化を感じ取ったりして聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個々の楽器あるいは同じ仲間の楽器の音色や人の声の特徴を感じ取って聴く。</li> <li>・ いろいろな種類の楽器や声の組合せによって生まれる響きの広がりを感じ取って聴く。</li> <li>・ 対照的な楽曲や演奏を聴き比べる活動を手がかりとして、楽曲全体の曲想やその変化を感じ取って聴く。</li> <li>・ 主な旋律を口ずさんだり身近な楽器で演奏したり、体を動かしたりしながら、楽曲全体の曲想や音楽の流れを感じ取って聴く。</li> <li>・ 視聴覚教材などを通して、実際に演奏している場面に接し、楽器の演奏のまねをして聴いたり身体表現をしたりして、演奏の仕方の工夫を感じ取って聴く。</li> </ul>
--	--	---

## 第5学年及び第6学年

### 1 学年目標

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 音の重なりや和声の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。

### 2 第5学年及び第6学年の評価の観点の趣旨

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	音楽のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	楽曲の構成に気を付けながら、曲想を全体的に味わって聴く。

### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

#### (1) 「A 表現・歌唱」

【学習指導要領の内容】

A 表 現	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。</li> <li>イ 八長調及びイ短調の旋律を視唱したり視奏したりすること。</li> </ol> </li> <li>(2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること。</li> <li>イ 拍の流れやフレ－ズ、音の重なりや和声の響きを感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。</li> </ol> </li> <li>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。               <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 呼吸及び発音の仕方を工夫して、豊かな響きのある、自然で無理のない声で歌うこと。</li> </ol> </li> </ol>
-------------	---

【「A 表現・歌唱」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
創造的に歌唱表現にかかわり、歌唱活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。	斉唱や合唱などによる歌唱表現及び歌声のよさや美しさを感じ取るとともに、歌詞の内容や楽曲の構成を理解して表現を工夫し、拍の流れやフレ－ズ、音の重なりや和声の響きなどを感じ取り、それらを生かした歌唱表現の仕方を工夫したり、身体表現をしたりしている。	範唱や範奏を聴いたり楽譜を見たりして歌うとともに、八長調及びイ短調の旋律を視唱している。また、呼吸及び発音の仕方を工夫して、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌っている。

【「A 表現・歌唱」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斉唱や合唱など様々な形態による豊かな歌唱表現に関心をもち、進んで歌おうとしている。</li> <li>・ 豊かな響きのある自然で無理のない声で歌うことに関心をもち、美しい声で歌おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 斉唱や合唱などによる歌唱表現の豊かさや美しさを感じ取るとともに、友達と一緒に声を合わせて歌うことのよさや喜びを感じ取っている。</li> <li>・ 友達の表現を聴き、そのよさや美しさを感じ取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱や範奏から、リズムや音程、歌詞や旋律の流れ、歌詞の発音などの豊かな表現を聴き取って歌っている。</li> <li>・ 課題意識をもって範唱や範奏を聴き、リズム、旋律、強弱、速度、音色、和音などに気を付けたり、それらの</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱表現を聴いて同じように歌いたいという思いや願いをもち、創造性を生かした意欲的な歌唱表現をしようとしている。</li> <li>・音楽の流れを体全体で受け止め、それを生かした歌唱表現や身体表現をしようとしている。</li> <li>・自分の表現意図や思いが表現できるように繰り返し歌おうとしている。</li> <li>・進んで八長調及びイ短調の旋律の視唱に取り組み、読譜を行おうとしている。</li> <li>・自分自身の表現意図をもち、集団で協力して歌唱表現の仕方を工夫しようとしている。</li> <li>・自分、あるいは友達の歌声や歌唱表現から、そのよさや課題を発見しようしたり、その解決に取り組もうとしたりしている。</li> <li>・重唱や合唱、斉唱など表現形態に興味をもって選択したり、より豊かな歌唱表現をしようとしている。</li> <li>・楽しんで歌うことができる愛唱歌を探したり増やしたりして、音楽の学習や学校生活、季節や行事にかかわる活動に生かそうとしている。</li> <li>・生活の中にある様々な歌や長い間親しまれてきた唱歌、地域に伝承されている歌など日本のうたのよさに関心を深め、学習に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱や友達の歌声を聴いて、自然で無理のない声、きれいな声、豊かな響きのある声による美しい歌唱表現を求めて、歌い方を工夫している。</li> <li>・歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、言葉の意味や歌詞の内容を理解したりするとともに、歌詞と旋律、歌詞とリズム、歌詞と和音の関連など楽曲の構成を理解して、それらを生かした歌唱表現の工夫をしている。</li> <li>・歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気を付けながら、きれいな発音に心掛けて、表現に生かしている。</li> <li>・拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化、音の重なりや和声の響きなどを感じ取って歌ったり、身体表現をしたりしている。</li> <li>・旋律やリズム、和声などの反復や変化などに気を付けて聴き、それらを生かした曲想表現を工夫している。</li> <li>・多様な演奏形態を経験し、快いと感じる拍の流れやフレーズ、強弱や速度を工夫したり、美しく響き合う音を求めたり、旋律の流れに合う和音の響きをつくったり、演奏しながら音楽に合わせて体の動きを工夫したりするなど、歌唱表現による自己表現の幅を広げている。</li> <li>・声や楽器の音のかかわり合いによって生み出される様々な響きを感じ取ったり、和声の美しい響きを味わったりして、曲想表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互のかかわりをとらえたりして、豊かな表現をめざして歌っている。</li> <li>・楽譜と音との関連を理解して視唱している。</li> <li>・長調と短調の違いを感じ取って視唱している。</li> <li>・移動ド唱法に慣れ、活用している。</li> <li>・自分の声の持ち味を生かし、伸び伸びとした歌声で歌うとともに、曲想に合った自然な歌い方を工夫して歌っている。</li> <li>・豊かで美しい歌唱表現を求め、曲想表現に合う呼吸や発音の仕方、歌詞の内容にふさわしい発音に気を付けるとともに、母音や子音、濁音や鼻濁音などの発音に気を付けて歌っている。</li> <li>・理解した歌詞の内容や楽曲の構成にふさわしい表現の仕方を工夫して歌っている。</li> <li>・友達の歌声に耳を傾け、みんなの声と合わせて歌ったり、伴奏や他のパートを聴いたりしながら工夫して歌っている。</li> </ul>
---	--	---

## (2) 「A 表現・器楽」

### 【学習指導要領の内容】

A 表 現	<p>(1) 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。</p> <p>ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること。</p> <p>イ 八長調及びイ短調の旋律を視唱したり視奏したりすること。</p> <p>(2) 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。</p> <p>ア 歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること。</p> <p>イ 拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きを感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。</p> <p>(3) 歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>イ 音色の特徴を生かして、旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</p>
-------------	---

### 【「A表現・器楽」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<p>創造的に器楽表現にかかわり、器楽活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>旋律楽器及び打楽器の演奏、簡単な重奏や合奏などによる器楽表現及び楽器の音色のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲の構成を理解して表現を工夫し、拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きなどを感じ取り、それらを生かした器楽表現の仕方を工夫したり、身体表現をしたりしている。</p>	<p>範唱や範奏を聴いたり楽譜を見たりして楽器を演奏するとともに、八長調及びイ短調の旋律を視奏している。また、音色の特徴を生かして、旋律楽器及び打楽器を演奏している。</p>



【「A表現・創作」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なリズムや旋律をつかって表現することに興味・関心を持ち、創造的に音楽づくりに取り組んでいる。</li> <li>・身の回りのいろいろな音の響きに注目し、進んで音楽づくりに生かそうとしている。</li> <li>・イメージを豊かに膨らませ、自分自身の音楽をつくり出そうとしている。</li> <li>・自由な発想を生かした音楽づくりを楽しんでいる。</li> <li>・曲の構成を工夫しながら、進んでまとまりのある旋律やリズムをつかって表現しようとしている。</li> <li>・いろいろな音の響きやその組合せを生かし、多様な音楽表現を楽しんでいる。</li> <li>・自分自身の感じ方や考え方を生かしながら、友達と協力して音楽づくりを進めようとしている。</li> <li>・互いの表現のよさを生かし、よりよい表現をめざして音楽づくりを進めている。</li> <li>・音楽づくりの経験を歌唱、器楽、鑑賞の活動に創造的に生かそうとしている。</li> <li>・季節や地域の行事にかかわる活動と関連した音楽表現を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴くことや音楽遊びを通して、リズムや旋律、曲の構成のおもしろさを感じ取っている。</li> <li>・様々な音の素材による響きの違いを感じ取っている。</li> <li>・身の回りのいろいろな音や声の響きの特徴を感じ取って、自分の表現したいことについての思いやイメージを広げている。</li> <li>・自由な発想を生かした音楽づくりを通して、音楽表現のイメージを豊かに膨らませている。</li> <li>・いろいろな声や音の響きのよさや美しさを感じ取り、それらを生かした多様な表現の仕方を工夫している。</li> <li>・様々なリズムや旋律、曲の構成のおもしろさを生かした表現の仕方を工夫している。</li> <li>・互いに工夫した音楽のよさや美しさを感じ取り、よりよい美しい表現をめざして、何度も工夫を重ねている。</li> <li>・いろいろな音楽表現の可能性に気付いたり、それらを自分の表現に生かしたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な音やリズムの組合せ、曲の構成を工夫して表現している。</li> <li>・様々なリズム・パターンを組み合わせ、リズム伴奏やリズム・アンサンブルを工夫して表現している。</li> <li>・言葉のリズムや抑揚を生かして、まとまりのある旋律をつくらせている。</li> <li>・音を組み合わせ、低声部を付けたり、簡単な副次的な旋律をつくらせたり、和音伴奏を付けたりしている。</li> <li>・自由な発想で即興的に音を選び、自然や情景、人の気持ちや心の変化・様子などを表現している。</li> <li>・声やいろいろな楽器、様々な音の素材を工夫して生かし、多様な音楽表現を楽しんでいる。</li> <li>・自由な発想を生かして物語や詩、劇のBGMなどを工夫して表現している。</li> <li>・音や声の出し方を工夫して、自分自身の音や音楽をつくらせている。</li> <li>・つくった音や音楽を工夫して記譜している。</li> </ul>

(4) 「B鑑賞」

【学習指導要領の内容】

B 鑑 賞	<p>(1) 音楽を聴いてそのよさや美しさを味わうようにする。</p> <p>ア 曲想を全体的に味わって聴くこと。</p> <p>イ 主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成、音楽を特徴付けている要素と曲想とのかかわりに気を付けて聴くこと。</p> <p>ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気を付けて聴くこと。また、それらの音や声の重なりによる響きを味わって聴くこと。</p>
-------------	---

【「B鑑賞」の評価規準】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
<p>様々な音楽を創造的に聴き、鑑賞活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>いろいろな種類の音楽やいろいろな演奏形態による音楽を聴いて、楽曲全体の構成に注目したり、様々な楽器の音や声の重なりによる響きの特徴を感じ取ったりするなど、そのよさや美しさを感じ取るとともに、音楽表現のよさや工夫に気づき、それらを生かした鑑賞の仕方を工夫している。</p>	<p>主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成、音楽を特徴付けている要素と曲想とのかかわり、楽器の音色及び人の声の特徴、それらの音や声の重なりによる響きに気を付けて聴くとともに、曲想を全体的に味わって聴く。</p>

【「B鑑賞」の評価規準の具体例】

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌曲、室内楽の音楽、箏や尺八を含めた我が国の音楽、諸外国に伝わる音楽など、いろいろな種類の音楽に関心をもって聴こうとしている。</li> <li>・ 独唱、合唱、重奏を含めたいろいろな演奏形態による音楽に関心をもって聴こうとしている。</li> <li>・ 楽器の音色や特徴を聞き分けたり、人の声の様々な種類や特徴に気付いたりして、楽器の音や声の重なりによって生まれる多彩な響きの美しさを味わって聴こうとしている。</li> <li>・ 楽器の音色や人の声の響きの美しさを味わって聴こうとしている。</li> <li>・ 主な旋律を歌ったり、楽器で演奏したり、身体表現をしたり、あるいは対照的な楽曲や演奏を聞き比べたりしながら、楽曲全体の曲想やその変化を感じ取り、音楽のよさや美しさを味わって聴こうとしている。</li> <li>・ 楽曲を特徴付けるリズム、旋律、強弱、速度、音色、和声、調などの要素に気を付けて聴こうとするとともに、これらが関連し合い、音楽全体の曲想を生み出していることに気付いて聴こうとしている。</li> <li>・ 自らの感じ方や考え方、思いなどを生かしながら、様々な音楽を進んで聴こうとしている。</li> <li>・ 教師や友達の演奏をよく聴き、そのよさや美しさを味わおうとしている。</li> <li>・ 我が国及び諸外国で多くの人々に親しまれてきた様々な音楽に関心をもち、愛好曲を増やそうとするとともに、それらの音楽を生活の中で聴くことに親しんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌曲、室内楽の音楽、箏や尺八を含めた我が国の音楽、諸外国に伝わる音楽など、いろいろな種類の音楽を聴いて、それぞれの音楽の美しさや特徴を感じ取っている。</li> <li>・ 独唱、合唱、重奏を含めたいろいろな演奏形態による音楽の美しさや特徴を感じ取っている。</li> <li>・ 様々な音楽を聴いて、歌ったり楽器を演奏したりすることの楽しさやすばらしさを感じ取っている。</li> <li>・ 友達の表現を互いに聴いて、そのよさや美しさを感じ取っている。</li> <li>・ 演奏の仕方の工夫によるよさや演奏効果を感じ取っている。</li> <li>・ 楽曲を特徴付けているリズム、旋律、強弱、速度、音色、和声、調などの要素が有機的に関連し合い、曲想と深く結び付きながら、音楽全体の美しさを生み出していることを感じ取っている。</li> <li>・ 様々な音楽を聴いて、音の重なりや和声の響きのよさや美しさを感じ取っている。</li> <li>・ 個々の楽器あるいは同じ仲間の楽器の音色や特徴を感じ取ったり、人の声には様々な種類や特徴があることを感じ取ったりしている。</li> <li>・ 主な旋律の反復や変化、対照、旋律と旋律とのかかわり合いなどを感じ取っている。</li> <li>・ 様々な種類の音楽を聴いて、それぞれの楽曲の特徴や構成を感じ取っている。</li> <li>・ 副次的な旋律の働きに気付き、旋律と旋律のかかわり合い、旋律と一体になって響く和音や音楽の流れなど、音と音とが織りなす美しさ、色合いや気分の変化を感じ取っている。</li> <li>・ 多様な演奏形態の音楽に親しみ、音色の異なった様々な楽器や声がかかり合うことによって生まれる多彩な響きの美しさを感じ取っている。</li> <li>・ 主な旋律を歌ったり、楽器で演奏したり、対照的な楽曲や演奏を聞き比べたりしながら楽曲全体の曲想やその変化を感じ取ったり、音楽表現のよさや工夫を感じ取ったりしている。</li> <li>・ 演奏している場面に接し、音楽に合わせて演奏のまねや指揮などの動作をしながら、演奏の仕方の工夫、演奏の効果やよさを感じ取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽表現のよさや美しさを感じ取りながら、様々な楽曲を聴いたり、範唱や範奏、友達の表現を聴いたりする。</li> <li>・ 楽曲を特徴付けているリズム、旋律、強弱、速度、音色、和声、調などの要素が有機的に関連し合い、曲想と深く結び付きながら楽曲全体の美しさを生み出していることを感じ取って聴く。</li> <li>・ 主な旋律の反復や変化、対照、さらに旋律と旋律とのかかわり合いの美しさなど、楽曲を特徴付けている諸要素と楽曲全体の構成とのかかわりのよさや特徴を感じ取って聴く。</li> <li>・ 副次的な旋律の働きに気付き、旋律と旋律とのかかわり合い、旋律と一体になって響く和音や音楽の流れなど、音と音とが織りなす美しさ、色合いや気分の変化を感じ取って聴く。</li> <li>・ 個々の楽器あるいは同じ仲間の楽器の音色や特徴を聞き分ける。</li> <li>・ 人の声には様々な種類や特徴があることを理解して聴く。</li> <li>・ 多様な演奏形態の音楽に親しみ、音色の異なった様々な楽器や声がかかり合ったり溶け合ったりして生まれる多彩な響きの美しさを感じ取って聴く。</li> <li>・ 対照的な楽曲や演奏を聞き比べる活動を手がかりとして、楽曲全体の曲想やその変化に気付き、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</li> <li>・ 主な旋律を歌ったり、楽器で演奏したり、指揮などの動作をしながら音楽を聴き、曲想の変化や音楽全体の流れのよさや美しさを感じ取って聴く。</li> <li>・ 視聴覚教材などを通して実際に演奏している場面に接し、楽器の演奏のまねや指揮などの動作をして、演奏の仕方の工夫を感じ取って聴く。</li> </ul>

### 第3 題材の評価に関する事例

ここでは、第2で示した小学校音楽の「内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例」を参考とし、指導と一体となる評価の計画を立てて実践した事例を紹介する。

本題材「ふしの感じを生かして楽しく演奏しよう」は、新しい学習指導要領の趣旨を生かし、表現領域の「器楽」と鑑賞領域を有機的に結び付けて学習を進めた中学年の実践事例である。

すなわち、鑑賞活動を基盤に据えて音楽を特徴付けている諸要素を感じ取り、その経験を基に、旋律の特徴を生かしたりコーダーによる表現活動に取り組み、さらに、一人一人が心に描いた様々なイメージを大切にしながら旋律の速度や強弱の工夫をしたり、簡単なリズム伴奏づくりをしたりして、子供たちの表現力を育成しようとしているところに、本題材の特徴がある。

<b>事例</b>	<b>題材名「ふしの感じを生かして楽しく演奏しよう」(7時間)</b>
	<b>第4学年 5～6月</b>

#### 【本事例の読み方】

「1 題材の目標」～「7 観点別評価の進め方」までは、事前の計画段階でのものであり、いわゆる学習指導案の形式をとっている。

「7 観点別評価の進め方」は通常の指導案ではあまり見られない形であるが、事前に評価についてこのように考えることは、指導の改善に結び付くと考えられる。本事例では、題材の学習状況を含めて記述しているところから、実際の指導の状況を読みとっていただけるものと期待している。

「8 指導と評価の実際例」では、題材の学習から1つの学習場面に焦点をあて、実際の授業の中での子供たちの様子と、教師の指導と評価の活動を紹介している。また、評価の結果を指導の改善に結び付けたり、指導要録等の記録に結び付けたりするための授業後の教師の活動についても併せて紹介している。また、その結果を「9 記録と総括の例」において示している。

#### 1 題材の目標

旋律の特徴を感じ取って音楽を聴いたり、旋律の感じを生かした表現を工夫したりする活動を楽しみながら、旋律を豊かに表現する能力を身に付けるようにする。

#### 2 題材設定の意図

##### (1) 題材の特徴

本題材は、音楽を特徴付けている諸要素を感じ取って、表現を工夫する能力を育てようとする学習である。第3学年までの、拍の流れやフレーズを感じ取って表現する学習を基盤としながら、ここでは、さらに旋律に焦点をあて、旋律の流れの中で拍感やフレーズ感、強弱や速度の変化に対する感覚を育て、旋律を豊かに表現する能力の育成をねらっている。

実際の学習にあたっては、鑑賞教材を導入として、旋律の特徴に気付く楽しさ、旋律の変化を味わう喜びを感じ取ることから始め、その経験を基にして、旋律の特徴を生かしながら表現することの楽しさへ、器楽活動を中心として導いていきたい。中心となる教材では、主な旋律楽器としてリコーダーを取り扱う。

さらに、楽譜通りに演奏するだけでなく、子供たちの発想を生かして音楽を工夫して表現する学習活動も計画している。「陽気な船長さんは、どんな人物？」という投げかけにより、子供たちがイメージした船長さんのキャラクターに合わせて、旋律の速度や強弱を工夫して演奏したり、主旋律を演奏する楽器を様々な楽器の中から選択したり、簡単な打楽器でリズム伴奏を付け加えたりする活動である。このような活動を通して、旋律を表情豊かに表現する力を身に付けてほしいと期待している。

##### (2) 本題材における評価活動

第4学年のこの段階の子供たちは、まだまだ音楽的な表現も未熟であり、学習活動に対する意欲が継続しないことも多い。そこで、おおむね満足できる段階を慎重に設定し、子供たちが少し努力すれば達成感を味わい、向上の喜びを感じることでできるように評価規準を作成した。7時間扱いの本題材で、10項目の評価規準というように、具体的評価規準の数を精選したのも、同じ理由からである。自然な学習活動の流れを大切に、常に指導方法の改善に結び付けながら、一人一人の子供たちの喜びにつながる評価活動を工夫していきたい。

3 教材について（愛唱歌については省略）

(1) 「陽気な船長」(市川都志春作曲)

スタカートで演奏されるAの部分と、レガートで表現されるBの部分が、A - B - Aの形式で演奏されるリコーダーのための器楽曲である。主旋律は、4年生1学期の子供たちでも技能的に無理なく演奏できるため、技能面での制約なく表現の工夫に集中することができる。旋律の特徴がたいへん明確であるために、旋律のそれぞれの特徴を生かした演奏を工夫しやすい楽曲である。

(2) 「白鳥」(鑑賞教材 サン・サーンス作曲)

サン・サーンスの作曲した「動物の謝肉祭」の中で、チェロの独奏とピアノ2台の伴奏で演奏されるたいへん優雅な曲である。「動物の謝肉祭」の中から「象」や「おんどりとめんどり」、リムスキー・コルサコフの「熊蜂の飛行」などを用いて「動物当てゲーム」をし、自由な想像をめぐらせて鑑賞することの楽しさを味わいながら「白鳥」へと導入していきたい。演奏場面の映像も使いながら、なめらかで優美な旋律を十分に味わうようにしたい。

(3) 「ピチカート・ポルカ」(鑑賞教材 シュトラウス、ヨハン(子)とシュトラウス、ヨゼフの合作)

「ワルツ王」と呼ばれるシュトラウス、ヨハン(子)と弟のシュトラウス、ヨゼフの合作と伝えられている作品で、弦楽器はすべてピチカートで演奏する。グロッケンを加えた演奏も有名である。実際の鑑賞にあたっては、バイオリンの実物を実際に持ったり、構えたりする活動をして、弦楽器に親しみをもつようにしながら、はずんだ感じの軽い旋律の動きを味わうようにしたい。なお、演奏を聴くだけでなく、DVDを使って、実際の演奏の様子にも触れたい。

4 題材の評価規準

【題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準】

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	旋律の特徴を生かした表現に関心を持ち、意欲的にリコーダーを中心とした器楽表現に取り組もうとしている。	はずんだ感じとなめらかな感じといった旋律の特徴に気付くとともに、フレーズのまとまり、強弱や速度の変化などを自分なりに感じ取って、表現や鑑賞の仕方を工夫している。	はずんだ感じとなめらかな感じといった旋律の特徴など、音楽を特徴付ける様々な要素を自分なりに生かすように楽器を演奏している。	主な旋律の特徴や楽器の美しい音色を聴き取るとともに、リコーダーの音色や旋律の特徴を生かすための互いの表現の工夫を感じ取って聴く。
学習活動における具体的評価規準	全員で取り組むリコーダーやグループごとに選択した楽器の演奏に、意欲的に取り組もうとしている。 はずんだ感じやなめらかな感じなど、旋律の特徴をとらえたグループの演奏をつくりあげるために、他のメンバーと協調、協力しながら活動を楽しんでいる。	はずんだ感じやなめらかな感じなど、旋律の特徴の違いを感じ取るために、聴き方を工夫している。 はずんだ感じやなめらかな感じで演奏するなど、旋律の特徴やその変化を生かしたリコーダーの演奏を工夫している。 自分たちのイメージした「船長さん」に合った音楽を工夫するために、みんなとそろえてグループ全体の工夫を表現している。	楽譜を見ながら、みんなとそろえて主旋律をリコーダーで演奏している。 美しい音色に気を付けて、主旋律をリコーダーで演奏している。 はずんだ感じとなめらかな感じの旋律の特徴を生かすように、楽器を選択したり、演奏をしたりしている。	はずんだ感じとなめらかな感じといった旋律の特徴の違いやその変化を感じ取って聴く。 友達がつくりあげた音楽表現のよさや美しさを感じ取って聴く。



5 指導と評価の計画（7時間扱い）

次	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準	評価方法等
第1次 (4時間)	<p>ねらい：学習の課題をつかむとともに，旋律の特徴をとらえて音楽を味わう楽しさを感じ取り，主旋律の特徴を生かした演奏をするようにする。</p> <p>楽しい学習の雰囲気をつくる。(毎時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛唱歌を声の響きに気を付けながら斉唱する。</li> <li>旋律の特徴を感じ取る。</li> <li>・「ピチカート・ポルカ」を，演奏している楽器に気を付けながら聴く。</li> <li>・バイオリンを持ったり構えたりする。</li> <li>・旋律の特徴に気を付けながら聴く。</li> <li>・演奏場面を見ながら鑑賞し，演奏の方法を知る。</li> <li>・自由に想像をめぐるせながら「象」や「おんどりとめんどり」などを聴いて「動物当てゲーム」をする。</li> <li>・「白鳥」を聴き，旋律の特徴を感じ取る。</li> <li>・2つの曲の冒頭の部分を，体を動かしながら聴くなど，聴き方を工夫しながら鑑賞する。</li> </ul> <p>曲の感じをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「陽気な船長」の節奏を聴く。</li> <li>・主旋律を階名で歌う。</li> </ul> <p>美しい音色で旋律の特徴を生かした演奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の節奏に続いて，リコーダーで少しずつ練習する。</li> <li>・個人練習をする。</li> <li>・はずむ感じとなめらかな感じの違いを表現できるように工夫しながら，美しい音色のリコーダーを通して演奏する。</li> </ul>	<p>エ - (鑑)</p> <p>エ - (鑑)</p> <p>イ - (鑑)</p> <p>ウ - (器)</p> <p>ウ - (器)</p> <p>イ - (器)</p>	<p>評価方法等</p> <p>実際例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードの利用，態度や表情の観察</li> <li>・(上と同じ)</li> <li>・行動の観察，表情や態度の観察，学習カードの利用</li> <li>・演奏場面の観察</li> <li>・演奏の聴取</li> <li>・演奏の聴取</li> </ul>
第2次 (2時間)	<p>ねらい：自らの発想を生かしながら，旋律の特徴を生かした表現を友達と力を合わせて工夫していくようにする。</p> <p>自分たちのイメージに合わせて，表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「陽気な船長さんは，どんな人物？」をテーマに，自分たちなりに考えた船長のイメージをつくり，キャラクターを絵や言葉で表現する。</li> <li>・グループごとに，船長さんのキャラクターに合わせた曲想の工夫の仕方を，演奏しながらつくっていく。</li> <li>・主旋律に，自分たちでつくったりリズム伴奏などを付け加えて演奏する。</li> </ul> <p>旋律の特徴が明確に伝わる演奏をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通して演奏し，レガートとスタッカートなど旋律の特徴が明確に伝わる演奏をつくりあげる。</li> </ul> <p>互いの演奏を聴いて，演奏の工夫を認め合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの工夫を生かした演奏を互いに発表し合う。</li> <li>・工夫を認め合ったり，アドバイスし合ったりする。</li> </ul>	<p>イ - (創)</p> <p>ア - (器)</p>	<p>・グループ学習の観察，</p> <p>・演奏の聴取</p> <p>・演奏後のグループ内の話し合いの観察</p>
第3次 (1時間)	<p>ねらい：これまでの学習の成果を基に，旋律の特徴を生かそうと工夫した演奏を発表し合い，互いの音楽のよさを認め合う。</p> <p>演奏をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時のアドバイスをもとに，演奏の修正をしたり，発表方法の工夫をしたりする。</li> </ul> <p>互いの演奏を発表し合い，よさや美しさを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「陽気な船長」を自分たちの音楽の特徴が伝わるように表現を工夫し，発表する。</li> </ul>	<p>ア - (器)</p> <p>ウ - (器)</p>	<p>・演奏の聴取，記録VTRの視聴</p>

・友達の表現を聴いて、そのよさや美しさを感じ取る。

エ - (鑑)

・発言や態度の観察，学習カードの利用

## 6 本時の学習（第1次，第4時）

### (1) ねらい

みんなと合わせて主旋律をリコーダーで演奏できるようにするとともに、はずんだ感じとなめらかな感じの2つの旋律の特徴を生かすように工夫して演奏するようにする。

### (2) 学習の展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ( 学習活動における具体の評価規準)
<p>1 学習の雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛唱歌「春の風」を斉唱する。</li> </ul> <p>2 主旋律を正確に演奏できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「陽気な船長」の主旋律を階名唱する。</li> <li>・主旋律を通して演奏してみる。</li> <li>・「飛び出し注意作戦」で、4段目を重点的に練習する。</li> </ul> <p>・全曲を通して個人練習をする。</p> <p>・余裕のある場合は、中間部の の副次的な旋律を練習する。</p> <p>3 はずんだ感じの旋律となめらかな感じの旋律の特徴を生かすように演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人のグループになり、1人が2小節ずつ演奏するリレー奏の練習をする。</li> <li>・アとイを通すことのできたグループから発表する。</li> </ul> <p>4 いろいろな船長をイメージしながら演奏し、次時からの活動の導入とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな船長のイメージに合わせて主旋律をリコーダーで即興的に工夫して演奏する。</li> </ul>	<p>楽しい雰囲気が出るように、表情を豊かに使っている様子などを称賛する。</p> <p>テンポに気を付けながら伴奏する。</p> <p>階名を確認しながら歌えるように、ゆっくりとピアノ伴奏をする。</p> <p>できる範囲でよいことを伝え、全曲を通してみる。</p> <p>教師の吹いたところまでを正確に演奏するという約束を確認する。楽譜をよく見て、先の音を出さないようにする「飛び出し注意作戦」で、ゲーム的に練習を進める。</p> <p>楽譜を見ながら、みんなとそろえて主旋律をリコーダーで演奏している。(ウ - )</p> <p>旋律の特徴を生かすようにと説明をしてから個人練習の時間をとる。</p> <p>リコーダーを苦手として困っている子、間違った演奏の仕方をしている子などの個人指導をするとともに、身体の使い方の上手な子などを称賛する。</p> <p>の旋律ができてしまったと思える子は、の旋律を練習してもよいことを説明する。</p> <p>グループづくりについては、席が隣り合っている子とし、メンバーは教師が指定する。</p> <p>旋律の特徴を生かしたりリレー奏ができるようにという目標を提示してから練習に入るようにする。</p> <p>通すことのできたグループから申し出てもらい、全体の練習を中断する形で発表していく。その際、みんなに聴いてもらおうと緊張してうまく演奏できなくなってしまうグループは、全体の練習を中断せずに、教師にのみ演奏を発表する形でよいことを伝える。</p> <p>美しい音色に気を付けて、主旋律をリコーダーで演奏している。(ウ - )</p> <p>はずんだ感じやなめらかな感じで演奏するなど、旋律の特徴やその変化を生かしたりリコーダーの演奏を工夫している。(イ - )</p> <p>次時からの音楽を工夫して表現する活動につながる練習として、いくつかの例を示し、楽しく演奏してみる。</p> <p>「 な船長」に合わせて、強弱や速度、音の高さなどを工夫した伴奏をして、子供たちの表現を引き出すようにする。</p>

7 観点別評価の進め方

【音楽への関心・意欲・態度】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法やAと判断する場合の例
<p>ア - 全員で取り組むリコーダーやグループごとに選択した楽器の演奏に、意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>評価方法 この評価規準については、発表時の子供たちの活動を観察したり、記録したVTRを視聴したりして判断していく。さらに、練習の様子、楽器を構える姿勢、表情、言動、楽器の扱い方、音楽室への往復の様子などにも、「楽器が好きだ」という心情が表れるケースも多いので、技能面のみに左右されることなく、子供たちの意欲や向上心をとらえていく。</p> <p>Aと判断するキーワード こだわりをもった練習 集中した練習 自分なりの工夫 体を使った表現 積極的な行動 繰り返し練習する際に、最初から機械的に繰り返しているのではなく、自分なりのこだわりや課題をもって部分的に集中して練習をしている子などをAの対象としたい。また、教師のアドバイスしたとおりの練習をするのではなく、自分なりの工夫を加えて楽器の演奏を美しくしようとする姿も大切にしたい。</p> <p>特に、第3次の発表の場面では、学習の結果としての高まりが感じられなくてはならない場面であるので、体を効果的に使って表現しようとしていたり、メンバーとのかかわり方などで積極的な行動をとっていたりなど、表情や行動がよりよい器楽表現につながっている子をAの対象としながら、子供たちの様子をしっかりと観ていきたい。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ 個別に指導する。易しい目標を設定しながら少しずつクリアすることに称賛し、励まし、意欲を喚起する。友達関係にも気を配り、本人がやる気を出すことのできるような人間関係になるように配慮する。</p>
<p>ア - はずんだ感じやなめらかな感じなど、旋律の特徴をとらえたグループの演奏をつくりあげるために、他のメンバーと協調、協力しながら活動を楽しんでいる。</p>	<p>評価方法 この評価規準については、第2次の学習全体を通して子供たちを観察していく。各グループの練習をまわって演奏を聴いたり、話し合い活動をしている様子を見守ったりして判断する。</p> <p>Aと判断するキーワード 音楽的な意見 リーダーシップ 他の意見の尊重 友達のアイデアの実現への努力 4年生の1学期では、グループ学習もまだまだ難しい面もあるが、メンバーと調和を図りながら、協力して活動することは必ずできるようにしたいことである。その中で、旋律の特徴をとらえた演奏にするための意見を積極的に出していたり、様々な意見をまとめるリーダー的な活動をしていたり、自分の意見を出すだけでなく、他のメンバーの出した意見を尊重しようとしていたり、友達の出したアイデアに対して、その実現のために一生懸命表現していたりなど、単に楽器の演奏が楽しくて活動しているだけでなく、旋律の特徴を生かした演奏へと、グループの演奏を方向付けて行動のできている子をAの対象としていきたい。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ 協力することができずグループ学習がうまくできない子の多くは、音楽的な原因というよりも、グループ内の人間関係による問題が起因となっている場合が多い。人間関係の調整と、本人及びグループ全体への指導を繰り返しながら、一人一人のよいところを認めるようなグループの雰囲気醸成されるように導く。</p>

【音楽的な感受や表現の工夫】

学習活動における具体的評価規準	具体的な評価方法やAと判断する場合の例
<p>イ - はずんだ感じやなめらかな感じなど、旋律の特徴の違いを感じ取るために、聴き方を工夫している。</p>	<p>評価方法 指揮のように両手を動かしながら聴いたり、楽器を演奏するまねをしながら聴いたりする方法等を紹介してから鑑賞し、音楽を聴いている時の子供たちの様子を観察する。また、鑑賞後に記入する学習カードを用意する。</p> <p>Aと判断するキーワード 教師の示した方法を工夫 自分なりの方法での鑑賞 旋律の感じによって体の動かし方を変えることは当然できてほしいことであるが、教師が紹介した方法を音楽的に活用していたり、自分なりの方法で旋律の特徴にふさわしい体の動かし方を工夫したりしている子をAとしたい。音楽の流れに十分のっていること、旋律の変化をとらえて大胆に動き方を変化させていることなどがポイントとなる。また、学習カードへの記入では、「なめらかな感じ」や「はずんだ感じ」などの一般的な表現で二つの旋律を比べるだけでなく、比喩表現などの自分なりの言葉で旋律の違いを表現してほしい。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ 本人の傍らに行き、共に活動することで、本人の活動を引き出すようにしたい。</p>
<p>イ - (本時) はずんだ感じやなめらかな感じで演奏するなど、旋律の特徴やその変化を生かしたリコーダーの演奏を工夫している。</p>	<p>評価方法 少人数のグループで行うリコーダーのリレー奏を聴いて、スタックカートやレガートの奏法を工夫して演奏しているかを観ていく。なお、この一つの活動で、この評価規準とウ - の評価規準を同時に観ていくこととする。</p> <p>Aと判断するキーワード 効果的な体の動き 表情の工夫 美しい音色の追求 こだわりをもった練習 リコーダーを演奏する際、時々タンギングが雑になったり、ブレスコントロールがうまくいかず音色が乱れたりするのは、4年生のこの段階では仕方ないことであると考えている。Aの対象となるのは、そのようなことがほとんどなく、きれいなタンギングで演奏できたり、安定した音で演奏できたりする子である。(ここまですウ - を評価する。)また、単に2つの旋律の違いを表現しているだけでなく、体の動きや顔の表情を効果的に使って、より美しい表現を自ら求めている子を本評価規準のAとしていきたい。さらに、発表の瞬間だけでなく、練習の過程で2つの旋律の違いにこだわって練習をしている姿も大切にしていきたい。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ リレー奏の前の練習の段階で、周りで演奏している友達の音に注意を向けるように話したり、いっしょに練習をしたりする。向上していることを認め、称賛し、励ましていく。</p>
<p>イ - 自分たちのイメージした「船長さん」に合った音楽を工夫するために、みんなとそろえてグループ全体の工夫を表現している。</p>	<p>評価方法 グループで練習に取り組んでいる様子を観察したり、子供たちと会話をしたり、通している演奏を聴いたりする中から判断していく。</p> <p>Aと判断するキーワード 効果的な楽器の選択 メンバーの意見の調整 音楽的なアイデアの提案 一人一人が異なる楽器を使ってもみんなですらった演奏をすることや、グループ全体でつくったイメージに合わせて、自分の役割を考えて演奏を工夫することなどは、本評価規準をおおむね満足している姿である。Aの対象となるのは、新たに楽器を選択しようとした場合に旋律の特徴を生かす楽器を選択している子、メンバーが個々に工夫した演奏を全体のバランス等を考えて調整する意見を出している子、</p>

	<p>旋律の変化を大胆なものにしたり速度や強弱に関するアイデアを出したりしている子など、グループ全体の表現をよりよくする役割ができていている子である。</p> <p>Ｃと判断される子供への働きかけ  グループ全体の中で、本人が活躍できる場面を意図的に設定し、わかりやすく説明して、練習を手伝うようにする。また、本人が何気なくやっている演奏の中から工夫につながるものを教師が見つけだし、「君の考えたアイデア」として、グループ全体の工夫の中に取り入れるようにし、本人の意欲を喚起する。</p>
--	--

【表現の技能】

学習活動における具体の評価規準		具体的な評価方法やAと判断する場合の例
ウ - (本時)	楽譜を見ながら、みんなとそろえて主旋律をリコーダーで演奏している。	<p>評価方法  教師が、数小節演奏し、それに続いて子供たちが演奏するという方法で少しずつ演奏できるようにしていくが、その際に、子供たちの中をまわりながら、一人一人の技能的な状態を観察していく。また、個人練習の際も子供たちの状態をじっくりと観察したい。</p> <p>Aと判断するキーワード  正しい構え方 すばやくできる 何度やっても正確  美しい表現の追求  正しい構え方で、すばやく主旋律を演奏できるようになり、何度やっても正確にできている子、個人練習では、一歩進めてすでに美しい表現をめざして練習しているような子をAの対象としていきたい。</p> <p>Ｃと判断される子供への働きかけ  この場面においては、技能的につまずいている子を見つけることが重要であり、Aの対象となる子よりも、このままにしておいたらＣとなってしまう子を見つけることを優先したい。なお、そのような技能面で不十分な子については、その原因がリコーダーの経験不足であれば、授業時間とは別に個人指導の時間を設けることにする。また、読譜上の問題であるならば、楽譜の読み方を本人とともに再度確認し、自宅学習等での課題とする。</p>
ウ - (本時)	美しい音色に気を付けて、主旋律をリコーダーで演奏している。	<p>評価方法  少人数のグループで行うリコーダーのリレー奏を聴いて、美しい音色で、スタッカートやレガートの奏法を工夫して演奏しているかを観ていく。なお、この一つの活動で、この評価規準とイ - の評価規準を同時に観ていくこととする。</p> <p>Aと判断するキーワード  乱れない音色 きれいなタンギング 安定したレガート奏  リコーダーを演奏する際、時々タンギングが雑になったり、プレスコントロールがうまくいかず音色が乱れたりするのは、4年生のこの段階では仕方ないことであると考えている。Aの対象となるのは、そのようなことがほとんどなく、きれいなタンギングで演奏できたり、安定した音でレガートで演奏できたりする子である。</p> <p>リレー奏という表現方法が子供たちの意識を高め、どの子もこの評価規準を満足してくれることを期待している。</p> <p>Ｃと判断される子供への働きかけ  リレー奏に入る前の練習の場面で、個人指導をする。美しい音色で演奏できない子の多くは、プレスコントロールに課題があるので、楽器の構え方や息の量などについて、アドバイスをするとともに、実演をして見本を示すようにする。</p>
ウ -	はずんだ感じとなめらかな感じの旋律の特徴を生かすように、楽器を選択	<p>評価方法  この評価規準については、発表時の子供たちの演奏を視聴したり、記録したVTRを視聴したりして判断していく。</p>

<p>したり，演奏をしたりしている。</p>	<p>Aと判断するキーワード  適切な楽器の選択 表情や体全体を使った演奏  美しい音色や適切な音量  題材全体を通して学習してきた，はずむ感じとなめらかな感じの旋律の特徴を生かした演奏ができているかを観ていく。それぞれの旋律をスタッカートやレガートで演奏するのは，題材の最終段階としては，当然できて欲しいことである。そこで，それぞれの旋律の特徴を表現するのにふさわしい楽器やマレット等を選択していたり，旋律の特徴を表そうとして表情や体全体の使い方を工夫したりしている子供が，Aの対象となる。また，子供たちの中には，旋律の特徴を表現しようとするあまり音色が乱れたり，音量のバランスを崩したりするケースも見受けられるが，Aとなるのは，そのようなことがなく，美しい音色や適切な音量を保ちながら旋律の特徴を表現している子供である。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ  他のグループの演奏を聴いて，旋律の特徴を生かした表現をしていることに気付くようにアドバイスをするとともに，気が付いた場合は，称賛し，励まし，次の活動につながるようにする。</p>
------------------------	--

【鑑賞の能力】

学習活動における具体の評価規準	具体的な評価方法やAと判断する場合の例
<p>エ - はずんだ感じとなめらかな感じといった旋律の特徴の違いやその変化を感じ取って聴く。</p>	<p>評価方法  鑑賞後に，子供たちに旋律の特徴についての投げかけをし，感想発表の内容を観察する。また，学習カードへの書き込み状況からも判断する。もちろん，鑑賞中の顔の表情，態度，授業後の教師との会話なども加味しながら判断していきたい。</p> <p>Aと判断するキーワード  旋律を比較対照 旋律の特徴についての気付き  それぞれの楽曲を鑑賞した後，既に学習した「アマリリス」の2つの旋律のどちらの旋律に似た特徴をもっているかを判断できるのは当然であろう。そこで，鑑賞後の教師とのやりとりの中で，旋律の特徴についての気付きがあり，その特徴について，自分なりの言葉で表現できている子をAの対象としていきたい。</p> <p>さらに，鑑賞後，学習カードに感想を記入することとし，その記述の中で，旋律の変化のことに触れるだけでなく，旋律を比較対照していることがわかるような記述がある場合を，文書の巧拙に惑わされることなくAの対象としていく。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ  学習カードに何も書けないような子については，直接会話をし，その受け答えの中から，本人の気付いていることを明確にしてあげるようにする。</p>
<p>エ - 友達がつくりあげた音楽表現のよさや美しさを感じ取って聴く。</p>	<p>評価方法  学習のまとめとしての発表会で，他のグループの演奏を聴いている時の態度，聴いた後の発言の様子，鑑賞後に記入する学習カードによって判断していく。</p> <p>Aと判断するキーワード  題材のねらいに即した発言 たくさんのよい点の発見  他のグループが発表しやすいような環境をつくってあげること，どんなことでもよい点を見つけて発言したり，カードへの記入ができていることなどは，この評価規準をおおむね満足している姿である。Aとなるのは，そのようなことに加えて，本題材の目標である旋律の特徴を生かした演奏という観点から，発言したり，カードへの記入ができている子である。</p> <p>Cと判断される子供への働きかけ  友達の演奏中に私語をするなど，演奏者に迷惑をかけるような行為</p>

については、目で注意を促したり、傍に行って自分の行動に気付くようにしたりする。また、よい面を発見できなかった子供については、自分たちの演奏と比べながら、他のグループのよさを見つけるようにアドバイスをしていく。

## 8 指導と評価の実際例（「5 指導と評価の計画」の第1次参照）

### 学習活動における具体的評価規準

はずんだ感じとなめらかな感じなどの旋律の特徴の違いを感じ取るために、聴き方を工夫している。  
(イ - )

### 教師の働きかけ

「先生の見本を参考にして、自分なりの方法を工夫して音楽を聴き、旋律の特徴を比べましょう。」  
指揮のまねをしながら鑑賞する方法と足のステップをしながら鑑賞する方法の2つを例示する。  
2曲の冒頭からやや進んだ部分までを交互に3回ずつかけ、工夫して感じ取ったそれぞれの旋律の特徴について、学習カードに記入するように話す。

### 子供たちの様子と教師の評価活動

2曲の冒頭の部分を交互に聴いている場面

- ・工夫することができずただ聴いている子(1人)
- ・体をゆらしたりなど少し動かさず程度の子(数人)
- ・教師の示した指揮のまねをする子(多数)
- ・教師の示した足のステップをする子(数人)
- ・指で絵譜をなぞりながら聴いていた子(数人)
- ・ダンスのように体を使って聴いていた子(数人)
- ・楽器を弾くまねをしながら聴いていた子(数人)

ワークシートに記入している場面

- ・「なめらか」「はずんだ感じ」などの一般的な表現で2つの旋律の特徴を表現している子(多数)
- ・うまく言葉が見つからなくて悩んでいる子(数人)
- ・「白鳥はソフトクリームで、ピチカートポルカはポップコーンみたい」などの比喩表現が使えている子(数人)

### (教師の活動)

- ・子供たちの傍に行き、いっしょに指揮をしたり、ステップをしたりする。いろいろと工夫している子に対しては、笑顔でOKサインを出す。
- ・曲をかける合間に称賛する。  
(ICレコーダーをONにして、教師の称賛の言葉かけを記録しておく。授業後に名簿に転記。)
- ・自分なりの言葉で書いていることを称賛してまわる。うまく書けない子には、質問をしながら言葉を引き出すようにする。

### 評価を生かすために

#### 指導法改善のために

- ・音楽を聴きながら体を自然に使うことに照れてしまう子が多数いた。他の鑑賞教材でも体を動かしながら聴く活動を意図的に取り入れることにした。
- ・教師が事前に指揮のまねなどの方法を例示したことは、少なくとも、何もできないという子を生み出さなかったことにつながり、効果があった。しかし、教師の示した例のみをやっている子が多数であったために、子供たちの自由な発想を限定してしまった可能性もある。例は、1つでよかったと考える。

#### 評価計画を振り返って

- ・音楽を聴いている時間がある程度長いために、子供たちをじっくりと観察する時間があった。しかし、はじめは指揮のまねをしたけれども、途中から自分で考えた身体の使い方をしていた子など、教師の把握しきれなかった部分もあったのではないかという反省もある。
- ・学習カードについては、文章表現の巧みな子に目を奪われがちであるので、文章は未熟でも、自分なりの言葉で2つの旋律の特徴を言い表そうとしているかどうかを酌み取ろうと配慮した。鑑賞場面での教師の観察できなかった部分をフォローするためにも、学習カードに記入することは大切な活動であると考えている。

#### 指導要録等の記録のために

- ・いろいろな方法を試しながら聴いていた子、教師の示した例を自分なりに工夫していた子、独創的な言葉で2つの旋律の違いを表現していた子などをAとして記録した。

9 学習活動における具体の評価規準の記録と題材での総括例

各観点ごとに設定された2～3の具体の評価規準について、観点ア、観点イ、観点ウにおいては、題材の目標との関係から特に重点を置く評価規準を決めて総括している。観点エでは、特に重点は置かず2つの評価規準を同等に扱い総括している。

総括の流れ		題材の 観点別の評価	総括の考え方
具体の 評価規準			
ア - → 重点を 置いた → A ア - → 総括 → B ( は重点を置いた評価規準)		C	【観点アの総括の考え方】 題材の目標から、ア - に重点を置いて総括した。したがって、ア - がBであっても、ア - がAであるならば、題材全体としてはAと判断し、また、ア - がCの場合は、ア - がBであってもCと判断した。
イ - → 重点を 置いた → A イ - → 総括 → B ( は重点を置いた評価規準)		C	【観点イの総括の考え方】 題材の目標から、イ - とイ - の2つの評価規準に重点を置いて総括した。この2つの評価規準がともにAの場合、題材全体としてAと判断した。また、 と がともにCの場合、題材全体としてCと判断した。
ウ - → 重点を 置いた → A ウ - → 総括 → B ( は重点を置いた評価規準)		C	【観点ウの総括の考え方】 題材の目標から、ウ - とウ - の2つの評価規準に重点を置いて総括した。この2つの評価規準がともにAの場合、題材全体としてAと判断した。また、 と がともにCの場合、題材全体としてCと判断した。
エ - → 同レベルの 総括 → A エ - → 総括 → B エ - → 総括 → C		C	【観点エの総括の考え方】 エ - とエ - の評価規準のどちらかに重点を置くことはしていない。そこで、2つの評価規準がAの場合を、題材全体としてAと判断した。また、2つの評価規準がともにCの場合、題材全体としてCと判断した。

この考え方によって総括した結果が、以下の集計表である。

番号	氏名	音楽への 関心・意欲・態度				音楽的な感受や表現の工夫				表現の技能				鑑賞の能力					
		ア	ア	個人 内	総 括	イ	イ	イ	個人 内	総 括	ウ	ウ	ウ	個人 内	総 括	エ	エ	個人 内	総 括
1					A					B					A				A
2				↗	A					B					B				A
3					A					A					A				A
4					B					B					B			↗	A
5					B					↗	A				B				B
6					A					A					B				B
7					B					B					B				B
8					A					↗	A				B				B
9					B					B					A				B
10					A					B					A				A

(注)  
 ・ は十分満足できる状況、空欄はおおむね満足できる状況、 は努力を要する状況を示す。  
 ・ 個人内の向上の様子は、それぞれの評価規準ごとの評価結果の中に含まれているが、学期末や学年末の所見欄等の記述に生かすために、本人としての向上が著しい場合に限って、 ↗ で記録に残している。

この外にも、題材における観点別評価の総括については、様々な考え方や方法があり、各学校において工夫することが望まれる。